

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団情報収集能力向上事業

自治体名

栃木県市貝町

消防団名

市貝町消防団

1 事業の目的・必要性

【目的】消防団の情報収集能力向上を図るため、情報収集部隊を創設する。

【必要性】ドローンの活用により、目視が困難な状況下でも状況確認をすることが可能となる。

2 事業内容

- 消防団へのドローン導入
- 情報収集部隊の創設及び訓練の実施

- ・令和5年10月 ドローン納入
- ・令和5年11月 部隊創設及び林野火災を想定した訓練実施
- ・令和6年1月 隊員4名ドローン資格取得
- ・令和6年2月 団長直属の情報収集部隊として「市貝町消防団ドローン航空隊」発足
※令和6年4月より正式運用開始



3 事業成果

市貝町消防団内にドローンを導入するとともに、無人航空機に関する知識・技術を有する隊員4名を養成した。

加えて情報収集部隊としてドローン航空隊を発足させたことにより、消防団の情報収集能力の向上につながる。

また消防団員の減少に歯止めがかからない現状から、ドローンを活用することにより、活動の効率化・団員の負担軽減を図りつつ、新たな消防団としてドローンに魅力を感じた新規入団者の確保につながることを期待される。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
打ち合わせ	回数	3回	3回	
二等無人航空機資格講習参加者	人数	4人	4人	
訓練参加者	人数	150人	140人	

5 その他参考情報

- ・とちぎテレビ放映（令和6年2月20日、29日）
- ・下野新聞社掲載（令和6年2月21日）
- ・読売新聞社掲載（令和6年2月24日）
- ・朝日新聞社掲載（令和6年2月25日）
- ・NHK放映（令和6年2月29日）